

# 個性と魅力あふれるまちに

## ～景観まちづくりを推進～

私たちの住む伊勢原のまちは、大山の眺望や緑豊かな里地里山、田園風景の広がり、先人たちにより積み重ねられてきた多くの歴史・文化のもとに成り立っています。また、日々の生活や地域の特性により、さまざまなまちなみが形成されています。

市では、まちの魅力さをさらに高め、ゆとりと潤いのある生活環境を創るため、平成26年4月1日に市景観計画と市景観条例を施行し、市民の参加と協働による「景観まちづくり」を推進しています。

国都市政策課 94-4742

6月1日は景観の日  
景観法の全面施行日である平成17年6月1日に開催された「日本の景観を良くする国民大会」での提唱を受け、良好な景観形成に関する国民の意識啓発などを目的に「景観の日」が国により定められました。

## 大山地区を景観重点地区に指定しました

新東名・伊勢原大山インターチェンジが開通し、来訪者がさらに増えることが予想される中、大山詣りの風情や江戸情緒を感じるまちなみを次世代に継承していくため、大山地区に住む人々と話し合いを重ねながら景観重点地区指定を進めてきました。

新東名・伊勢原大山インターチェンジが開通し、来訪者がさらに増えることが予想される中、大山詣りの風情や江戸情緒を感じるまちなみを次世代に継承していくため、大山地区に住む人々と話し合いを重ねながら景観重点地区指定を進めてきました。

目標 大山詣りの風情を守り育てる景観まちづくり



### 景観重点地区とは

伊勢原市は市全域を景観計画区域に指定しています。中でも良好な景観の維持・保全・継承・創出を重点的に推進する必要がある地区のことです。市景観条例に基づいて指定するものです。

### 地区指定の効果

- ◇ 大山地区にふさわしいまちなみ誘導が可能になります
- ◇ 地域の大切な景観資源の保全・継承が図られます
- ◇ 経済効果が期待されます
- ◇ 生活環境が向上します
- ◇ 地域のコミュニティが醸成されます

### 地区指定の概要

大山地区の個性と魅力を生かしたより良い景観形成の実現に向けて、建築物の建築や工作物の建設などの適切な景観誘導を進めています。



施行日 令和2年6月1日

名称 大山まちなみ継承地区  
区域 大山・子易地内



方針 ◇ 歴史や文化、水や緑など、地域の成り立ちを伝える景観資源を守っていきます



◇ 地域活動をはじめとした、さまざまな取り組みにより景観まちづくりを支えています



| 右記を除く市全域                                | 大山まちなみ継承地区(景観重点地区内)                     |
|---|---|
| 高さ10mを超える建築物または延べ面積が500㎡を超える建築物の新築、増築など | 高さが10mを超える建築物または延べ面積が10㎡を超える建築物の新築、増築など |

届出対象行為 指定に伴い、届け出が必要となる建築物の規模が変わりました(左表)。

### 景観形成基準

建築物の建築や工作物の建設などにおける配慮事項、使用できる色彩の範囲などを、地域の景観特性に応じて定めました。詳しくは市役所2階の担当で配布する資料、または市ホームページ「産業・まちづくり」→「景観」→「伊勢原市景観計画・伊勢原市景観条例」をご覧ください。

### 景観まちづくりのイメージ



旧道沿いの緑豊かなまちなみ

歴史・文化を感じるまちなみ

多くの人でにぎわうこま参道

## 新たに8件を地域景観資源に登録しました

地域景観資源とは、多くの人に親しまれる個性豊かで魅力的な景観を市民の財産として守り、多様な交流の創出につなげるため、市景観条例に基づき設定した制度です。昨年4月に登録した10件に加え、市民ワークショップや市まちづくり審議会の審議を経て、新たに次の8件を登録しました。◇前回の登録については、市ホームページ「産業・まちづくり」→「景観」→「地域景観資源登録」をご覧ください ※写真はイメージです

- ① 大山桜  
樹齢400年といわれる大きなヤマザクラの木
- ② 善波の矢倉沢往還  
旧東海道の脇往還として機能した面影を今に残す古道
- ③ 総合運動公園のイチョウ並木  
約200m続く、秋を彩る黄金色の小径
- ④ 三之宮比々多神社春季例大祭  
毎年4月22日に開催。3基のカラクリ人形山車が印象的

**残したい、伝えたい 伊勢原の景観はありませんか**

伊勢原のまちには、まだまだ素晴らしい景観があります。皆さんが地域景観資源に登録したいと思う景観を募集しています。

申し込み 住所、氏名、電話番号、景観資源の名称、応募理由を明記し、郵送(〒259-1188※住所欄の記入は不要)かファクシミリ(095-7614)、電子メール(✉ t-seisaku@isehara-city.jp)、または直接担当にご提出ください

※写真がある場合は添付してください



晴れた日は相模湾やビル群などを一望



子どもの無病息災を願って造られた保国寺の子育て地蔵を地域の家々に回す民俗行事



江戸時代、夏山登山の参詣者のためにともされた常夜灯がモチーフ



高台から新東名を見渡すことができる新たな眺望